

昨夜みた夢

入来院 重宏



僕は、毎晩睡眠中に夢を見ます。まず間違
いなく毎晩見ます。小さい頃に見た夢もいく
つか覚えているので、幼少時より多分間違
なく毎晩夢を見続けています。

強烈な夢やとくにおもしろい夢を見た朝
は、忘れないうちに夢の内容をメモしていま
す。早朝（4時とか）にトイレに閉じ籠って、
ここ数年はフェイスブックに書き込みそのま
ま投稿しています。

初めて夢をメモしたのは高校時代です。非
常にグロテスクであまりにも不気味な夢だっ
たので、『この夢は何かとても重要なことを暗

示しているのではないか』と勝手に思い込ん
で忘れないうちにとメモしたのです。

その日に見た夢はこんな夢でした。なぜ夢
の中の僕がそのようなことをしているのか、
その理由までは覚えていませんが、夢の中で
僕は（中型の）犬の後ろ足二本を右手で掴ん
で（高校の）校舎に何度も叩きつけて殺すの
です。

自分の中に自分の知らない非常に野蛮な
気質があり、そのうちに僕は何かとんでもな
いことをしでかすんじゃないかとしばらく
悶々と悩んでいました。

あの恐ろしい夢の日から40年以上経ち
ますが、とりあえず今のところ僕は、警察沙
汰になるような危険な行為をすることもなく、
実に平凡に生きてきました。余計な心配だっ
たということでしょう。

見る夢は毎晩違います。多くの場合、夢の

中の僕は中学生か高校生です。そしてほとんどの夢がとても変です。芸能人等の有名人が出てくることもしょっちゅうです。

夢を50年以上見続けてきて、僕が夢について言えることは、「過去に経験したこともなく、見たり人から聞いたりしたことも、日中ぼんやり考えたことすらない不思議な世界が自分の頭の中で繰り返し広げられる。何か無意識の中の重要なことを示唆しているわけでもなさそうで、その後の僕の人生に全くと言っていいほど影響を及ぼさない。要するに僕の見る夢は僕を含めて誰にとっても無意味で人畜無害。だけど底知れず奇妙で面白い」こんなところでしようか。

ここ数年見た夢の中で、いくつか面白い(と自分が勝手に思っている)夢を紹介します。

①ビートたけしに叱られた夢

ビートたけしに「親不孝者」と言われ、青いプラスチックの大きなたらいでお尻を10回叩かれた。

あまり痛くなかったけど、感動して泣いた。嗚咽という感じであまり涙は出なかったけど、気がつくくと足元に160、080円と書かれた封筒がおいてあった。

場所は北海道の居酒屋で、たけさんの命令で電池を冷蔵庫にしまっているときに、たけしさんに「ちよつと来なさい」と呼ばれて叱られたのだ。

(自宅トイレで書いています。かみさんが早く出るようにと怒っている。夢でも現実でも怒られてばかり 2012.6.8)

②なぜか姫の姿の僕

僕は帆船に閉じ込められていて、なぜか姫

だった。(赤い着物を着ていて姫みたいだった。)突然ガタガタと音がしたので驚いて、僕は「誰じゃ、侍従長大慈か？」と叫んだところで見目が覚めた。

実は「大慈」は当て字で、「ジジュウチョウダイジカ」と叫んだ。侍従長大慈って誰?!
(2012. 8. 30)

③大島優子と結婚していた僕

僕はたぶん20歳位で家族と暮らしていた。大島優子はうちに居候していて、僕と彼女は結婚していることを家族に内緒にしていた。

彼女は僕の兄弟なのか従兄弟なのか分からないけど、小さな子供たちと一緒に寝ている、夜中こっそり僕の部屋に来ようとすると、途中で兄や兄の嫁さんにつかまって僕の部屋まで辿りつけない。

仕方がないので、二人で家を出て暮らそうということになって、誰も住んでいないはずの親戚の家を見に行った。

誰もいないはずなのに何故か26年位前に亡くなった叔母さん(まだ若かった)が家を掃除していて、「1階は若い男性に2階は保育所に貸しているから空いている部屋はない」と言う。

僕たち二人は困って、僕が大島優子に「諦めて世間に公表して堂々と一緒に暮らそう」と言うと、彼女は「貴方は、最低の男じゃないから人に知られても恥ずかしくないけど、私やっぱりまだアイドルでいたい」と言う。僕は「じゃあ別居して月に一度くらいこっそり俺に会いに来るか？俺だって若いんだから外に女作るかもよ」と最低の男丸出しの台詞を言ったところで目が覚めた。

ちなみに、僕はAKB48とか大島優子と

か全然興味ありません。(2013.6.27)

④おぶくろを思つて泣いた

僕はまだ随分と若く、新宿ゴールデン街の飲み屋みたいところで飲んでいた。一緒にテールを囲んでいるのはお婆さんのように歳をとった戸川昌子と若い石原慎太郎と、もう一人はやっぱ若い男で知らない奴だった。戸川昌子が「私は若い頃、4歳の娘を死なせてしまった」と言つて泣いていた。僕は深く同情して、心の中で『なんで俺はこの女性が好きなのか今やっと分かった。この女性は死んだお袋にそっくりだからだ』と考え、そう思うと死んだ母親に会いたくなつて、とめどもなく涙が溢れてきた。

そこに石原慎太郎が、「お前のその涙はこの国の将来を憂いてのものだろう。お前は予知能力があるから、きつと何か見たんだろう。

お前が今見たことを皆に話して聞かせるがいい」と言った。

僕は『俺には予知能力なんてない。俺は死んだお袋に会いたくて、気がついたら涙が出ただけだ』と言つた。石原慎太郎がひどくがっかりした顔をしたところで目が覚めた。(2013.10.13)

⑤ポール・マツカートニーが叔父さんだった

老人ホームに叔父さんを訪ねたら、叔父さんは疲れたポーズで、だらしなく椅子に座つてお米をゆっくり研いでいた。何故か叔父さんはポール・マツカートニーだった。ポールがつまらなそうに椅子に腰掛けてたらだらとお米を研いでいる姿が面白いので写真を撮つてるところで目が覚めた。

今まで、いろんなポールを見てきたけど、

おひつに右手を突っ込んでゆっくりお米を研いでるポール・マッカートニーは初めて見た。しかも、僕の叔父さんだなんて！なんて素敵なんだろう。

叔父さん（ポール）のつまらなそうな顔を見て夢の中の僕は思わず吹き出してしまった。
（2013. 1. 27）

⑥デュアン・オールマンが生きていた。

夢の中の僕は中学生か高校生くらい。押入れの中からギターの音が聞こえてくるので襖を開けるとデュアン・オールマンがギター（レッドサンバーストのレスポール）を弾いていた。

デュアンに（日本語で）「生きていたの？」と聞くと、デュアンは（日本語で）「40年隠れて生きてきた」と言う。

僕も、『デュアンは多分きつとどこかで生

きている』とずっと信じていたそうで「信じていると現実になることが証明された」涙を流して喜んだ。

デュアンが牛乳を飲みたいというので、1リットルの紙パックを買ってきて渡そうとしたら、手から滑って落ちてパックが破裂。「俺は、つくづく牛乳には縁がないな」とデュアンが笑うので僕も笑った。

不思議な感動を呼び起こす夢だった。
（2018. 5. 19）

⑦苦い味が分からない

夢の中の僕は高校生くらい多いので、それも不思議なのだけど、今見た夢の中の僕は小学校1年生くらいの子供だった。なんの授業か分からないけど、画用紙がみんなに1枚ずつ配られていて、先生が「苦い味」というのはどんな味か書いてみよう」という。

僕も含めみんな何て書いていいのか分からなくて困っていると、先生は瓶を取り出して「この瓶の中の粉は苦い味だから、これを舐めてみよう」と言った。そして僕の手のひらに粉をのせた。僕はその粉を舐めてみたがあまりの苦さに「べっ」と吐き出してしまった。

先生は「さあ、みんな粉を舐めて苦い味というのがどんな味か画用紙に書いて、先生のところに持ってきてください」という。僕はあまりの苦さに吐き出してしまったので全く味を覚えてなくてやっぱ何も書けない。画用紙を前にしてどうしていいか分からず泣き出してしまった。

気がつくとも周りのみんなも同じように困って泣いていて、なんだかホッとして目が覚めた。(2018. 5. 21)

(キリン社会保険労務士事務所代表)

